

対象学年等	幼児～	ジャンル	かがく絵本
書名	はははのはなし 作者 加古 里子（福音館書店）		
お勧めポイント	福音館書店の「かがくのともシリーズ」から「はははのはなし」。歯が痛くなると、大人だって泣いてしまいます。そんなに痛いなら、いっそ歯なんかなければいいのに……。本当にそうなのかな。歯の役割、歯の大切さを伝えてくれる一冊。		

対象学年等	幼児～	ジャンル	かがく絵本
書名	かさぶたくん 作者 柳生 弦一郎（福音館書店）		
お勧めポイント	福音館書店の「かがくのともシリーズ」から「かさぶたくん」。「かさぶた」ができたことはありますか。「かさぶた」は血でできた傷のふた。そう、自然のばんそうこうなのです。さて「かさぶた」の下は、どうなっているのでしょうか。かさぶたの働き、身体の不思議を教えてくれる一冊。		

対象学年等	幼児～	ジャンル	絵本
書名	さくら 作者 長谷川 摂子（福音館書店）		
お勧めポイント	福音館書店の「かがくのともシリーズ」から「さくら」。春のお花見と言えば「さくら」。だけど花の命は短くて、あっという間に散ってしまいます。花が散ってしまった後の桜の木はどうなっているのでしょうか。夏は？秋は？冬は？季節毎の桜の木の顔を見ることが出来る一冊です。そして桜の木の観察に出かけてみたくなること間違いなしです。		

対象学年等	幼児～	ジャンル	絵本
書名	ぶたのたね 作者 佐々木マキ（絵本館）		
お勧めポイント	はしるのがおそいオオカミ、まだぶたをたべたことがありません。きつねはかせにもらったたねをうえると……。ぶたの表情がとてもよいのです。ぜひ、何も考えずに物語を読んでみてください。そして、ほっこりしてください。		

対象学年等	誰でも	ジャンル	絵本
書名	いのちをいただく 原作：坂本義喜 作：内田美智子（講談社）		
お勧めポイント	小学生のしのぶくんのお父さんは食肉センターで牛を「解く」仕事をしています。お父さんの食肉センターにやってきた女の子と牛のみいちゃんが私たちに「いのちをいただく」ことについて教えてください。また、小学生のしのぶくんがお父さんの仕事について考え、お父さん自身が自分の仕事についても考えていきます。あなたは毎日食べるものに感謝をしていますか？		

対象学年等	低学年～	ジャンル	絵本児童書
書名	なんだろう なんだろう 作者：ヨシタケシンスケ（光村図書出版）		
お勧めポイント	最近のエピソードになるのですが、小学一年生になる息子と一緒に出会った本です。内容が深く、親である私も一緒になって「うーん」と考え込んでしまいました。明確な答えがなく、今でも気になっています。		

対象学年等	小学校低学年以上	ジャンル	文学（小説）・家庭（料理）
書名	「こまったさんのカレーライス」著：寺村 輝夫（あかね書房）		
お勧めポイント	主人公の「こまったさん」がお料理を作り出すと不思議なことが起こります。その話に引きこまれているといつの間にか、お料理の場面にもどり、また、不思議な話にいつの間にかおいしいカレーライスができています。あなたも本を見ながらカレーライスを作ってみませんか。こまったさんシリーズは、スパゲティ、ハンバーグ、オムレツ、サラダ、グラタン、サンドイッチ、コロッケなどもあります。さあ、何を作って食べようかな。		

対象学年等	幼児～中学年	ジャンル	物語
書名	くいしんぼうのあおむしくん 槇ひろし 作 前川欣三 画（福音館）		
お勧めポイント	何でも食べるあおむしくんがついには街まで食べ始める。中学年くらいの読み聞かせで人気があった本です。ラストが衝撃です。		

対象学年等	小学校低学年	ジャンル	童話
書名	「はじめてのキャンプ」 さく・え 林 明子（福音館書店）		
お勧めポイント	<p>はじめての キャンプやおでかけは、じゅんびするときから わくわくどきどきが とまらなかつたことを おぼえています。ちいさな なほちゃんに、「がんばれ〜」って、こえをかけながら よみおわたころには、なほちゃんのおともだちに なったような きがします。わたしも なにに ちょうせん しようかな。</p> <p>「わたし、くらいそとにひとりでおしっこいける！」ちいさい なほちゃんが、キャンプに行くために だいせんげん！！おおきいこたちに まけまいと、おもい にもつを はこんだり、おおきな まきを あつめたり、いっしょうけんめい がんばります。おいしいごはんを たべて たのしく いちにちが すぎてきますが…なほちゃんは、よる ひとりで おしっこ いったかな？</p>		

対象学年等	小学校低学年	ジャンル	絵本
書名	三びきのやぎのからがらどん 作者 マーシャ・ブラウン（絵）瀬田 貞二（訳）（福音館書店）		
お勧めポイント	<p>あらすじ 三びきのヤギ、名前はどれも「からがらどん」 山の草をたべて太ろうとする三匹のヤギと、谷川でまちうけるトルル（おに）との対決の物語。</p> <p>お勧めポイント 1965年に翻訳出版されたノルウェーの昔話。 物語の構成、リズム、北欧の自然を見事に再現した絵、小さな子どもたちが何度も何度も読んでほしいと願う一冊である。</p>		

対象学年等	小学校低学年	ジャンル	絵本
書名	くれよんのくろくん 作者 なかや みわ（童心社）		
お勧めポイント	<p>新品のクレヨンたちが箱を飛び出し、画用紙に絵を描き始めます。 ところが、くろくんだけは「せっかく描いた絵を黒くされてはたまらない」と仲間はずれになってしまいます。 そこに現れたシャープペンのおにいさん…。 作品を読んで終わり！ではなく、読んだ後は、 家族でお絵描きにチャレンジしてみてください。</p>		

対象学年等	低中学年	ジャンル	絵本
書名	ともだちや 著：内田 麟太郎（偕成社）		
お勧めポイント	キツネがはじめたのは1時間100円で友だちになるという「ともだちや」。キツネはこの「ともだちや」を通して、「ともだち」について多くのことを学びます。「おれたち、ともだち！」の絵本シリーズはどれも楽しい本ばかりです。ぜひ、一度読んでみてください。		

対象学年等	低学年～高学年	ジャンル	料理、工作
書名	ルルとララのすてきなパーティブック 作者：あんびるやすこ（ぴあ）		
お勧めポイント	かわいくておいしいお菓子のレシピやお部屋が華やかになるデコレーションがいっぱいの本です。		

対象学年等	小学校低～高学年	ジャンル	絵本 物語
書名	フレデリック ちょっと かわった のねずみの はなし 著：レオ＝レオニ 訳：谷川俊太郎（好学社）		
お勧めポイント	教科書にもでてくる「スイミー」の作者、レオ＝レオニが作った、のねずみのお話です。のねずみたちは冬をむかえるため藁や食べ物を集めますが、フレデリックはちがいました。寒くて暗い冬の日のためにおひさまのひかりを集めたり、いろを集めたり、ことばを集めたり…。いよいよ冬がやってきて、のねずみたちはどうやって過ごしているのでしょうか。そしてフレデリックが集めたものは…。ぜひ読んでみてください。		

対象学年等	小学校低～高学年	ジャンル	絵本
書名	「みえるとか みえないとか」 さく：ヨシタケ シンスケ そうだん：伊藤 亜紗（アリス館）		
お勧めポイント	<p>うちゅうひこうしのぼくは、いろんなほしにちょうさにいきます。あれ、このほしの人には目が3つあって、前も後ろも見るのがふつうなんだ。前しかみえないぼくは、びっくりされて「かわいそう・・・」って言われちゃった・・・。</p> <p>ユーモラスでかわいい絵の本を読みながら、「ふつうってなにかな」「あたりまえってなにかな」とかんがえさせられることがたくさんあります。 「自分とのちがい」をどうかんがえていったらいいのかな、こたえをさがしながら読んでみてください。</p>		

対象学年等	小学校低～高学年	ジャンル	科学
書名	「よわいかみ つよいかたち」 著者：かこさとし（童心社）		
お勧めポイント	<p>「条件をかえると機能も変わる性質も変わる」</p> <p>みんな大好き『かこさとし』さんの科学読み物です。同じ物質でも形を変えると強さが変わることを、楽しい実験で説明しています。この本を読み終えたら、紙とおもりを用意して、自分でも実験を試してみたいくなるにちがいありません。そして、いつも見ている身近な町や駅や色々な建物の見方が変わります。</p>		

対象学年等	小学校中学年	ジャンル	児童書
書名	二日月 作：いとうみく そうえん社		
お勧めポイント	<p>生まれた妹は重い病気を抱えていました。小学校4年生の杏は初めは歳の離れた妹が出来たことに喜びます。が、お母さんを取った妹に嫉妬したり、障害という言葉に敏感に感じたり、その複雑な杏の気持ちがえがかれています。家族をテーマにした物語。</p>		

対象学年等	中学年	ジャンル	物語
書名	エルマーのぼうけん 著：ルース・スタイルス・ガネット, ルース・クリスマン・ガネット他（福音館書店）		
お勧めポイント	<p>わが子が小さいとき（低学年から中学年のころ）、寝る前に少しずつ読み聞かせをした本です。主人公エルマーが、どうぶつ島にいる子供のリュウを助けるためにたった一人で旅に出かけるお話ですが、途中いろんな恐ろしい動物と出会っても、知恵と勇気でピンチを乗り越えていく、スリル満点のお話です。親子で楽しめる本です！</p>		

対象学年等	中学年	ジャンル	物語
書名	はれときどきぶた 著：矢玉 四郎（岩崎書店）		
お勧めポイント	<p>主人公則安は、お母さんに勝手に日記を見られ、悔しくなってお母さんが読んだら驚くような内容の「あした日記」に書くことにしました。すると、書いたことがすべて現実に。</p>		

対象学年等	小学校中学年以上	ジャンル	児童書
書名	かあちゃん取扱説明書（とりあつかいせつめいしょ） いとうみく		
お勧めポイント	お母さんに怒られてばかりの4年生のてつやくんは、お父さんのアドバイスで「かあちゃん取扱説明書」をつくって、かあちゃんを思い通りに動かそうとしますが…。お母さんを観察するうちに、自分が知らなかった「かあちゃん」に気づきます。 「あーうちもそうそう！」とてつやの取扱説明書に共感しながら楽しんで読むことができます！		

対象学年等	小学校中～高学年	ジャンル	ファンタジー冒険
書名	「フレディー世界でいちばんかっこいいハムスター」 作者：ディートロフ・ライフェ 訳：佐々木田鶴子 え：しまだ しほ（旺文社）		
お勧めポイント	朝起きると、何やら小さな視線を感じます。ふと床に目をやると、そこには我が家のハムスターが…しばらく見ていると、かすかに笑っているような…「もしかして、フレディ？」一晩中、冒険していたのかもしれないと、この本をすごく身近に感じた瞬間でした。 ハムスターのフレディがはじめて文字を知った時の喜び、ケージの外へ出ての大冒険。読めば読むほどおもしろさが増していきます。できる喜び、広がる世界、フレディと一緒に感じてください。		

対象学年等	小学校中～高学年	ジャンル	ファンタジー
書名	デルトラ・クエスト1「沈黙の森」作者 エミリー・ロッタ（作）岡田 好恵（訳）（岩崎書店）		
お勧めポイント	<p>あらすじ ここはデルトラ王国。王家に伝わる7つの宝石が、国を守っている。その宝石が、影の大王にうばわれた！デルトラを救うため、1枚の地図をたよりに、少年が冒険の旅に出る……。</p> <p>お勧めポイント 作者「エミリー・ロッタ」はオーストラリアの児童文学の最高の賞である最優秀児童図書賞を受賞している推理作家。 「沈黙の森」はデルトラ・クエストシリーズ第1弾である。 新しい友だちとの出会い、勇気、思いやり、知恵、宝石の不思議な力。主人公リーフと冒険に出ているような不思議な感覚になれる物語。 本離れをしている子どもたちに届けたい一冊。</p> <p>その他 デルトラ・クエスト シリーズ（全8巻） ① 沈黙の森 ② 嘆きの湖 ③ ネズミの街 ④ うごめく砂 ⑤ 恐怖の山 ⑥ 魔物の洞窟 ⑦ いましめの谷 ⑧ 帰還</p> <p>デルトラ・クエストⅡ シリーズ（全3巻） ① 秘密の海 ② 幻想の島 ③ 影の王国</p> <p>デルトラ・クエストⅢ シリーズ（全4巻） ① 竜の巣 ② 影の門 ③ 死の島 ④ 最後の歌姫</p>		

対象学年等	小学校中～高学年	ジャンル	ノンフィクション児童文学
書名	「蛾ってゆかいな昆虫だ！」 文：谷本 雄治 絵：つだ かつみ（くもん出版）		
お勧めポイント	<p>昆虫が好きな友達からも、「蛾はきらい。」そんな声が聞こえてきそうですが、実は蛾のことよく知らない人が多いのではないのでしょうか？私もそんな一人ですが、小学生の頃、教室でかいこを育てて、まゆの美しさに驚いた記憶があります。</p> <p>作者の谷本さんの観察や実験、蛾の様々な世界や人間とのかかわりが書かれていて、読み終わったら、「蛾っておもしろい生きものだなあ。」とつぶやいているのではないのでしょうか。一度、自分の目で、蛾の世界をのぞいてください。ちょっと価値観が変わるかも…</p>		

対象学年等	中学年～	ジャンル	天文
書名	天文キャラクター図鑑 著：渡部 潤一、いとう みつる（日本図書センター）		
お勧めポイント	天体やその地形・現象などが親しみやすい天文キャラクターになって登場します。夜空を見上げてみたくなる本です。		

対象学年等	小学校中～	ジャンル	児童文学
書名	「ドリトル先生航海記」 著者：ヒュー・ロフティング 訳：井伏 鱒二（岩波書店、偕成社、集英社、講談社、小学館等）		
お勧めポイント	<p>小学生の頃のおこがれの人、ドリトル先生。どんな動物とも話ができて、生きものへのやさしさがあふれていて…毎日、ドリトル先生に会うために図書室に通った思い出があります。</p> <p>「ドリトル先生航海記」はドリトル先生のシリーズの代表作です。ドリトル先生は、助手のトミー少年とクモサル島への航海の途中、闘牛に飛び入り参加したり、船が大破したり、王様になったり、はらはらどきどきの毎日を過ごし、最後は、海カクタツムリのからに入って、故郷に戻ってきます。想像できないような冒険をみなさんも実感してみてください。</p>		

対象学年等	中・高学年・一般	ジャンル	小説・物語
書名	ぼくを探しに シェル・シルヴァスタイン作・倉橋 由美子 訳（講談社）		
お勧めポイント	<p>この魅力的で心にしみるイラスト物語が、地球の上で、花のように、風のように読まれ続けているわけ——を、あなたも見つけてください。</p> <p>何か足りない／それでぼくは楽しくない／足りないかけらを探しに行く ころがりながらぼくは歌う 「ぼくはかけらを探してる、足りないかけらを探してる、ラッタッタ さあ行くぞ、足りないかけらを……」</p> <p>絵は単純なのに、奥深い。自分にとって本当に大事なものは何？と問いかけてくれる絵本。</p>		

対象学年等	小学校5, 6年生	ジャンル	
書名	数字とことばの不思議な話 著：窪園 晴夫 (岩波ジュニア新書)		
お勧めポイント	<p>「20」を読むときには「二十」なのに、「10」は「いちじゅう」と読まないのはなぜ？ 1から10の読み方にかくされたなぞとは？ 毎日なにげなく使っている数字の発音にかくされた「言葉の法則」をさぐってみよう。もっとも身近なことばである「数字」から、日本語の不思議で楽しい仕組みが見えてきます。</p>		

対象学年等	小学校高学年以上	ジャンル	童話・こどもの文学
書名	ワンダー Wonder 著：R・J・パラシオ 訳：中井 はるの (ほるぷ出版)		
お勧めポイント	<p>顔に大きな障害を持つ少年ワンダーが家族の愛と学校の助けで、いじめを克服し成長する姿をえがいたストーリー。ワンダーの生き方を通して、ワンダーのまわりのみんなが変わっていきます。この本を読んだ後、あなたの心も大きな変化がおとずれ、勇気が手に入ります。ワンダーの魅力 (みりょく) にあなたの心もふるえるはずです！</p>		

対象学年等	小学高学年～中学生	ジャンル	ファンタジー冒険
書名	「ブレイブ・ストーリー」 著者：宮部みゆき (角川書店)		
お勧めポイント	<p>「ぼくは、運命をかえてみせる！」 小学校5年生の巨 (わたる) は、成績はそこそこでゲームが好きなどこにでもいそうな男の子。ありふれた毎日が、ある出来事を境に急変します。幸せな日々を取り戻すために、巨は転校生ミツルの言葉をきっかけに、広大な異世界である幻界 (ビジョン) に旅立ちます。旅人の願いを1つだけかなえてくれるという運命の塔にいる女神に出会うために・・・。</p> <p>とにかく、はらはらドキドキします。まるでロールプレイングゲームの中の世界のようなようです。実際にこのお話をもとに、ゲームも作られたそうですよ。 本を読んでワタルと一緒に冒険しながら、最後のページにたどり着く頃にはきっと「本当の勇気とは？」と考えさせられるのではないのでしょうか。</p>		

対象学年等	小学高学年～中学生	ジャンル	文芸作品
書名	「お父さんのバックドロップ」 著者：中島 らも（集英社文庫）		
お勧めポイント	<p>子どもから見たお父さんはどんな風に映っているのでしょうか。小さかった頃は「すごいなあ」とばかり思っていた親も、自分が大人に近づくと見え方が変わってくるものです。大人の格好悪さや、格好良さ、両方見えてくるってことは、自分も大人に近づいているのかもしれないね。</p> <p>この本には、格好悪くても、一生懸命なお父さんが4人登場します。プロレスラー、落語家、魚河岸（魚市場）、テレビ局の番組制作・・・職業は様々ですが、家族のためにと裏でがんばる姿をあたたかく見守ってほしいなあと思います。</p>		

対象学年等	高学年～高校生	ジャンル	物語
書名	「注文の多い料理店」 著者：宮澤賢治（パロル舎）		
お勧めポイント	<p>「どなたもどうかお入りください。決してご遠慮はありません」</p> <p>鉄砲をかついだ二人の若い紳士が山奥で迷子になってしまいました。その時ふと見つけた西洋料理店に入りますが、色々な注意書きがあって、なかなかご馳走にありつくことができません。なんだか変だぞ？</p> <p>作者は『宮澤賢治』。小学校6年生の国語で学習する「やまなし」の作者です。同じ作者の違う作品に触れて、読み比べをしてみてください。</p>		

対象学年等	小学校高学年以上	ジャンル	児童書
書名	はてしない物語 作者：ミヒヤエル・エンデ		
お勧めポイント	<p>主人公の少年が、古本屋で見つけた1冊の本。盗み出し、学校の物置に忍び込んで読み始めるが・・・物語の中に入り込んでしまった少年がどうなっていくかワクワクが止まらない。そして不思議なのは、本を読んでいるあなた自身もこの物語の中に入り込んでしまうような気持ちになることです。最高のファンタジーです！</p>		

対象学年等	小学校高学年～	ジャンル	児童文学
書名	あしながおじさん ジーン・ウェブスター（作） 岩本 正恵（訳）（新潮社）		
お勧めポイント	<p>「あしながおじさん」という名前は聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。孤児院で育ったジュディに、名前も知らない男性が、奨学金を出して彼女を大学に通わせてくれる、ただし条件は、毎月、手紙を書いて送ること。ジュディは足がクモのように長かった影だけ見た、謎の男性を「あしながおじさん」と呼び、手紙を書き続けます。ジュディの書く手紙がとても楽しく素敵でセンス抜群です。今はメールやSNSでお互いに連絡が取れるので、手紙を書くという行為自体が減ってしまいましたが、お手紙を書くって素敵だな、と、これを読むと改めて思います。</p> <p>レモンゼリーのプール、のお話が出てきます。このエピソードが一番印象に残っています。</p>		

対象学年等	小学校高学年	ジャンル	文芸
書名	かがみの弧城 作者 辻村深月（ポプラ社）		
お勧めポイント	<p>学校での居場所をなくし、閉じこもっていた“こころ”の目の前である日突然部屋の鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先にあったのは、城のような不思議な建物。そこにはちょうど“こころ”と似た境遇の7人が集められていた。なぜこの7人が、なぜこの場所に。すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。</p> <p>2018年本屋大賞 第11回神奈川学校図書館大賞 熊本県学校図書館大賞2017 等 7冠</p> <p>読み始めたら止まらない。どんどん引き込まれていく物語。 不登校といっても、そうってしまった理由は千差万別。それぞれが違う事情を抱えていて、その一つ一つが上手く語られている。</p> <p>登場人物の1人である“喜多嶋先生”の子どもたちへの寄り添い方、見守り方、心から目の前の子どもに向き合う姿勢は先生方にもぜひ読んでほしい一冊である。</p>		

対象学年等	小学校高学年	ジャンル	ファンタジー
書名	ローワンと魔法の地図 作者 エミリー・ロッタ（作） さくま ゆみこ（訳）（あすなろ書房）		
お勧めポイント	<p>あらすじ リンの谷に住む主人公ローワンは、弱虫で恐がり。勇敢で屈強な者たちが暮らすリンの村では、体が小さくて臆病者は、家畜“バクシャー”の世話係と決まっている。 ある日、バクシャーの飲み水である川の水が干上がってしまう。ふしぎな地図をたよりに、魔の山へ分け入る7人の勇者の中には、何故か弱虫ローワンが…。 オーストラリア最優秀児童図書賞受賞作品。 この物語の主人公ローワンは物語の最後までずっと弱虫で怖がり。 そんなローワンが何故旅に出かけたのか。 本当の強さとは何なのか。考えさせられる一冊です。</p> <p>その他 リンの谷 シリーズ ① ローワンと魔法の地図 ② ローワンと黄金の谷の謎 ③ ローワンと伝説の水晶 ④ ローワンとゼバックの黒い影 ⑤ ローワンと白い魔物</p>		